

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業			事業番号	008-026
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	国際課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(7)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.14 ,17.16		
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市国際化方針						
3	事業開始年度			平成 20 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 12 年度		
4	実施根拠			—						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁及び堺・アセアン交流促進委員会		
6	事業の対象	【堺側】アセアン諸国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的	多文化共生の推進、アセアン諸国との交流を通じた国際感覚豊かな人材育成、アセアン諸国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流促進、堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワーク形成を行うことにより、海外の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。		
8	事業内容	○アジア諸国との交流 ・外国公館（在関西領事館等）連携事業の実施 ○堺・アセアン交流促進委員会 ①アセアン諸国とのオンライン交流の実施（小～大学各世代の年間を通じた交流）、②関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座の実施、③アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真の公募及び作品展示（入選作品50点程度）、④堺観光コンベンション協会等他団体主催の催しへ参画し、アセアンの音楽・舞踊等の伝統文化を紹介、⑤語学・料理・工芸等の各国文化講座の開催、⑥アセアン諸国の映画上映会の開催、⑦日本アセアンセンター等と連携したアセアン諸国の産業や経済面の現状に関するセミナーの開催、⑧民間大使プログラムの実施、⑨海外の大学生等に日本文化を体験してもらうプログラムの実施など。 ○共通 ・HP及びfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	堺・アセアン交流促進委員会		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	アセアン諸国との交流事業開催数	回	目標値	50	45	45	45
			実績値	41	36		
			達成率	82%	80%		
当該指標を選定した理由	アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流が事業目的に寄与するため						
目標値の設定根拠・算出方法	アセアン諸国等との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における事業開催数						

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	アセアン諸国との交流事業参加者数	人	目標値	5,000	5,230	15,300	
			実績値	6,847	26,865		
			達成率	137%	514%		
当該指標を選定した理由	アセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法	アセアン諸国等との交流及び堺・アセアン交流促進委員会事業における交流者数						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3,859	2,966	4,107	2,328	4,078
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（国際文化観光基金（国際課））	0	0	529	0	529
	受益者負担金（使用料、手数料等）	0	0	0	0	0
14	一般財源	3,859	2,966	3,578	2,328	3,549
	人件費（b）	24,161	22,260	19,670	19,670	14,370
15	年間経費（c）=（a）+（b）	28,020	25,226	23,777	21,998	18,448

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	堺・アセアン交流促進委員会負担金		2,304	2,304	通信運搬費	R7	決算	0	0
		R8	予算	3,500	3,500		R8	予算	36	0
	謝礼金	R7	決算	0	0	筆耕翻訳料	R7	決算	0	0
		R8	予算	22	0		R8	予算	55	0
	費用弁償（その他）	R7	決算	16	16	会場等借上料	R7	決算	0	0
		R8	予算	49	30		R8	予算	185	0
	普通旅費	R7	決算	8	8	研修会等参加負担金	R7	決算	0	0
		R8	予算	53	19		R8	予算	0	0
	消耗品費	R7	決算	0	0	その他	R7	決算	0	0
		R8	予算	26	0		R8	予算	152	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	アセアン諸国との交流事業参加者数	人	6,847
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,966
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	433
	算出についての説明等			88

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和7年度は、オンライン交流だけでなく、対面による交流も含めて通年で国際交流事業を実施し、新しく実施されたフィリピンフェスティバルに20,000人を超える参加者があり、交流参加者数は大幅に増加した。また、単位当たりの経費については、交流事業の参加者数が増加したことにより、約80%の大幅削減となった。 ・国際感覚豊かな人材の育成を目的とした学生間交流、アセアン諸国の魅力を体感できる機会の創出のための文化紹介等に加え、令和5年度から実施している経済や産業等に関するセミナーにより、グローバルビジネスに関する交流機会を創出することができたと考える。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・「堺市国際化方針」に基づき、アセアン諸国等との幅広い分野で事業を実施した。市民生活や学校教育の場における国際感覚を養う機会の提供や異文化理解の促進を図るため、対面交流に加えオンライン交流も取り入れるなど、時勢に即した対応を行っている。 ・アセアン諸国出身が堺市内の小中学校において授業、交流をするアセアン出前講座や民間大使プログラム等を企画、実施し、国際社会や地域で活躍できるグローバルな視点を持った次世代の人材育成につながる機会を創出した。 ・堺市民がアセアン諸国の文化に触れる機会となる文化講座やアセアンフォトコンテストを企画・実施し、国際交流の強化に寄与した。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	外国人住民の増加もあり、多文化共生の必要性が高まる中、本事業は、アセアン諸国等との相互交流を促進しており、来堺者の増加や国際感覚豊かな人材育成に寄与しているため、魅力あふれる国際都市をめざす事業として継続的な実施が必要である。
	有効性	■ 高い □ 低い	